

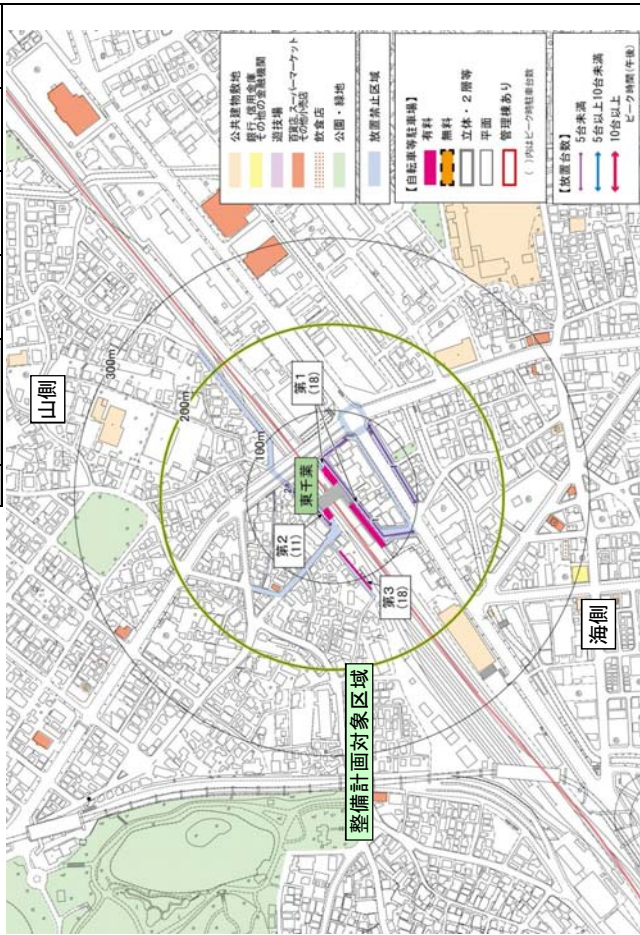
東千葉駅は、1日平均乗車人員は約2,200人、自転車等の乗入台数は51台である。
駐輪場は海側に1箇所、山側に2箇所設置しており、収容台数は247台となっている。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日

図はピーク時の台数を示している。

全体		ピーク時乗入台数		収容台数	
		駐車	放置		
計		51	47	4	247
自転車		49	45	4	235
原付		2	2	0	12



海側	乗入台数		駐車		放置		収容台数	
	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車
計	20	18	2	18	2	29	2	155
自転車	19	17	2	28	2	86	2	149
原付	1	1	0	1	0	6	0	6

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	2,186人/日
(H26千葉市統計書)	

【需要推計】

東千葉駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は51台と推計しており、現在、収容台数は247台を確保していることから充足している。

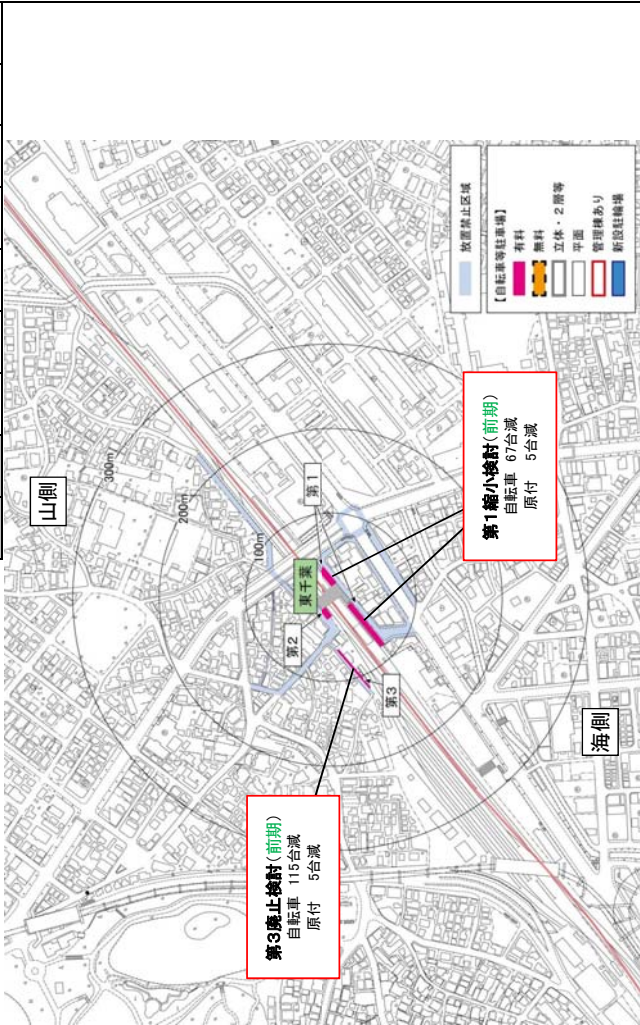
計画期間(H33)の伸び率	全体		自転車		原付		海側		山側		自転車		原付	
	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率

【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小を検討する。
山側においても推計台数が収容台数を下回ることから、第3駐輪場の廃止を検討する。

整備計画図

全体		乗入台数		伸び率		伸び後の台数		新規必要台数		推計台数		収容台数		不足台数	
		計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車
計		51	49	—	—	51	49	0	0	51	49	247	235	—	—
自転車		49	49	1.00	1.00	49	49	0	0	49	49	235	235	—	—
原付		2	2	1.00	1.00	2	2	0	0	2	2	12	12	—	—



海側	乗入台数		伸び率		伸び後の台数		新規必要台数		推計台数		収容台数		不足台数	
	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車
計	20	18	—	—	20	18	0	0	20	18	92	86	—	—
自転車	19	17	1.00	1.00	19	17	0	0	19	17	86	86	—	—
原付	1	1	1.00	1.00	1	1	0	0	1	1	6	6	—	—

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数				一時利用(内数)		整備時期	主体					
			現況(原付)	整備(原付)	計(原付)	現況(原付)	計画(原付)	用地		整備					
海側	第1	縮小検討	92	(6)	-72	(-5)	20	(1)	50	(0)	10	(0)	市	市	市
	計		92	(6)	-72	(-5)	20	(1)	50	(0)	10	(0)			
山側	第2	廃止検討	35	(1)			35	(1)	0	(0)	0	(0)	市	市	市
	第3		120	(5)	-120	(-5)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	市	市	市
	計		155	(6)	-120	(-5)	35	(1)	0	(0)	0	(0)	市	市	市
駅計			247	(12)	-192	(-10)	55	(2)	50	(0)	10	(0)			

※主体欄 市：千葉市、県千葉市、JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者

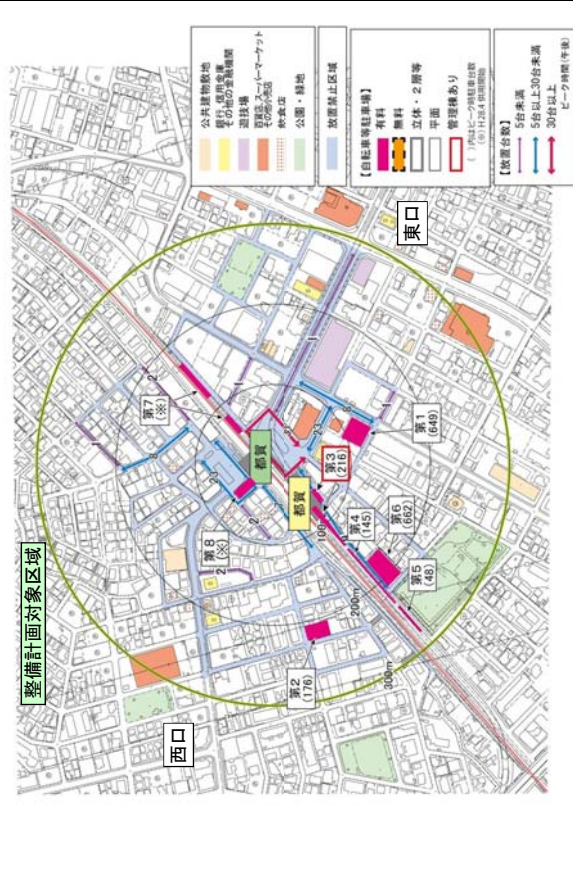
※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

都賀駅

【現況】

都賀駅は、JR線とモレールを合わせた1日平均乗車人員が約2万6千人、自転車等の乗入台数は約2,000台である。
駐輪場は西口に2箇所、東口に6箇所設置しており、収容台数は2,875台となっている。

駐車台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数	
測定日：平成27年6月2日	図はピーク時の台数を示している。	全体	計	駐車	放置
				2015	1,896
		自転車	1,887	1,773	
			原付	128	123
				5	235



西口	乗入		収容	
	台数	放置	台数	不足
計	221	176	45	669
自転車	203	160	43	609
原付	18	16	2	60

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	20,683人/日
モレール	5,695人/日
(H26千葉市統計書)	

【需要推計】

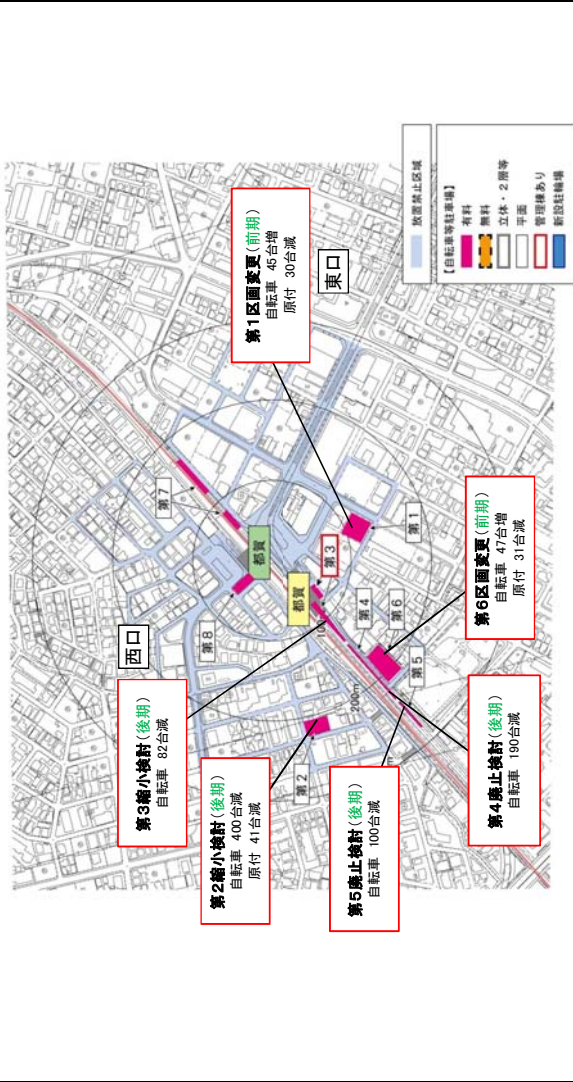
都賀駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は2,093台と推計しており、現在、収容台数は2,875台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体		西口		東口	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
	1.04	1.04	1.03	1.03	1.04	1.04

【整備計画】

東口は、推計台数が収容台数を下回ることから、第4、第5駐輪場の廃止及び第3駐輪場の縮小を検討する。なお、第1、第6駐輪場は民地借地による駐輪場であることから、安定的な収容台数の確保を前提として、駐輪場の縮小及び廃止について検討を行う。また、第1、第6駐輪場の区画変更を行う。
西口においても推計台数が収容台数を下回ることから、第2駐輪場の縮小を検討する。

整備計画図		全体		乗入		伸び率		伸び後の台数		新規		推計		収容		不足	
計	原付	2015	1,887	1,887	1,887	1.04	1,960	0	2,093	0	2,093	2,875	2,875	-	-	-	-



東口	乗入		収容		伸び率		伸び後の台数		新規		推計		収容		不足	
	台数	放置	台数	不足	221	-	228	0	228	0	228	669	-	-	-	-
計	203	1684	1684	1751	1.04	1751	0	209	609	-	-	-	-	-	-	-
自転車	18	103	19	0	1.03	19	0	19	60	-	-	-	-	-	-	-

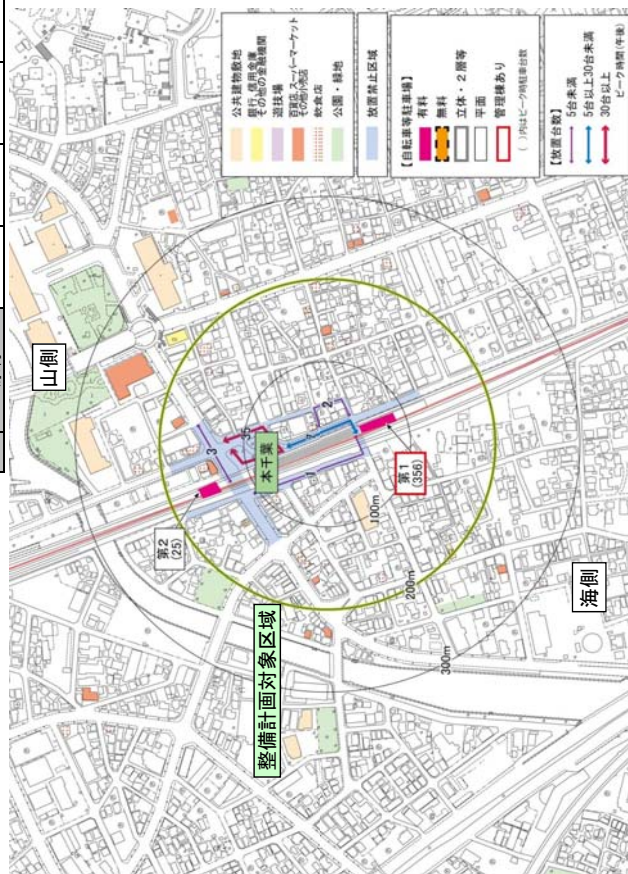
◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法		台数		一時利用(内数)		整備		主体	
		現況(原付)	整備(原付)	計(原付)	現況(原付)	計画(原付)	時期	用地	整備	運用	運用
西口	第2	522	(60)	-441	(-41)	81	(19)	0	(0)	後期	市
	第8	147	(0)	-147	(0)	147	(0)	96	(0)	後期	市
	計	669	(60)	-441	(-41)	228	(19)	96	(0)	後期	市
東口	第1	795	(82)	15	(-30)	810	(52)	0	(0)	前期	市
	第3	227	(20)	-82	(0)	145	(20)	137	(20)	後期	市
	第4	190	(0)	-190	(0)	0	(0)	0	(0)	後期	市
	第5	100	(0)	-100	(0)	0	(0)	0	(0)	後期	市
	第6	805	(73)	16	(-31)	821	(42)	0	(0)	前期	市
	第7	89	(0)	-89	(0)	89	(0)	29	(0)	後期	市
	計	2,206	(175)	-341	(-61)	1,865	(114)	166	(20)	後期	市
駅計		2,875	(235)	-782	(-102)	2,093	(133)	262	(20)	後期	市

※主体欄 市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本、京成：京成電鉄 モ：千葉都市モレール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

本千葉駅は、1日平均乗車人員は約9,800人、自転車等の乗入台数は429台である。
駐輪場は2箇所設置しており、収容台数は970台となっている。

測定日：平成27年6月2日 図はピーク時の台数を示している。	駐車台数・放置台数					
	全体	ピーク時乗入台数	駐車	放置	収容	
			台数	台数	台数	
		計	429	381	48	970
		自転車	400	355	45	850
		原付	29	26	3	120



海側	乗入 台数	収容		山側	乗入 台数	収容							
		計	自転車			原付	計	自転車	原付				
										駐車	放置	駐車	放置
計	193	192	1	485	236	189	47	485					
自転車	178	178	0	425	222	177	45	425					
原付	15	14	1	60	14	12	2	60					

◆参考データ	駅利用	1日平均乗車人員(H25)
	JR	9,807人/日
		(H26千葉市統計書)

【需要推計】

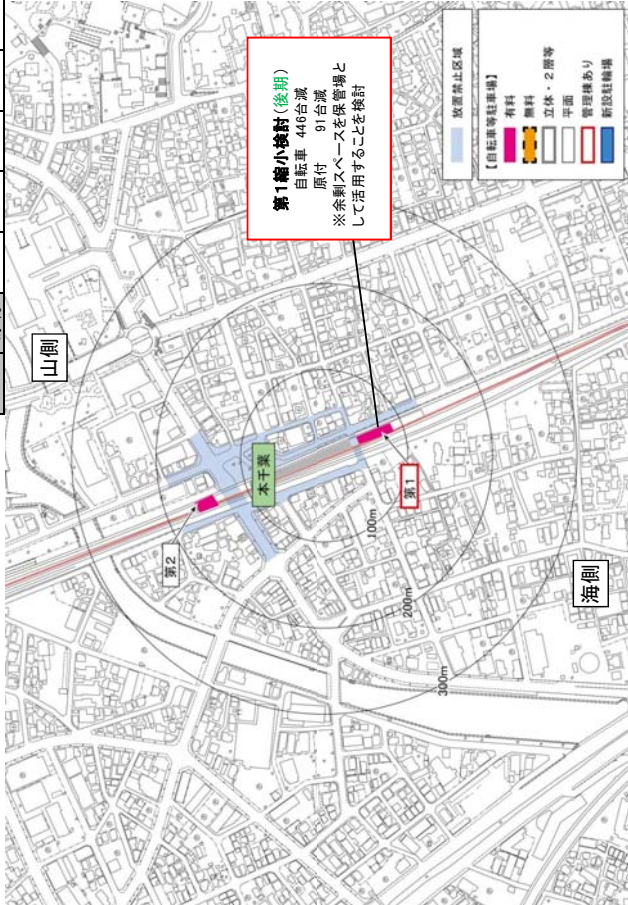
本千葉駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は433台と推計しており、現在、収容台数を970台確保していることから充足している。

計画期間(H33)の 伸び率	全体				海側				山側				原付	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
	1.01	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.02	1.02

【整備計画】

海側及び山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小を検討する。
なお、第1駐輪場の余剰スペースは、保管場として活用することを検討する。

整備計画図									
全体	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 需要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数		
計	429	—	433	0	433	970	—		
自転車	400	1.01	404	0	404	850	—		
原付	29	1.00	29	0	29	120	—		



海側										山側										計																			
乗入					伸び率					伸び後の台数					新規必要台数					推計					収容					不足									
台数					%					台数					台数					台数					台数					台数									
計					193					1.00					193					0					193					485					-				
自転車					178					1.00					178					0					178					425					-				
原付					15					1.00					15					0					15					60					-				

◆整備内容		駐輪場	整備手法	台数			一時利用(内数)			整備時期	主体		
駅口	現況(原付)			整備(原付)	計(原付)	現況(原付)	計画(原付)	用地	整備				
海側	第1	縮小	410	(50)	-292	(-45)	118	(5)	50	(10)	後期	JR	市
	第2		75	(10)			75	(10)	0	(0)	—	JR	市
	計		485	(60)	-292	(-45)	193	(15)	50	(10)	—		
山側	第1	縮小	410	(50)	-245	(-46)	165	(4)	50	(10)	後期	JR	市
	第2		75	(10)			75	(10)	0	(0)	—	JR	市
	計		485	(60)	-245	(-46)	240	(14)	50	(10)	—		
駅計			970	(120)	-537	(-91)	433	(29)	100	(20)	100	(20)	

駐輪場は、東口に7箇所、西口に4箇所設置し、収容台数は5,424台となっている。

図はピーク時の台数を示している。

◆参考一々

(H26千葉市統計書)

蘇我駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は推計で4,876台となり、現在、収容台数を5,424台確保していることから充足している。

全体

東口では、推計台数が収容台数を下回ることから、第4駐輪場の民地借地部及び第10駐輪場の廃止を検討する。

	4,6
--	-----



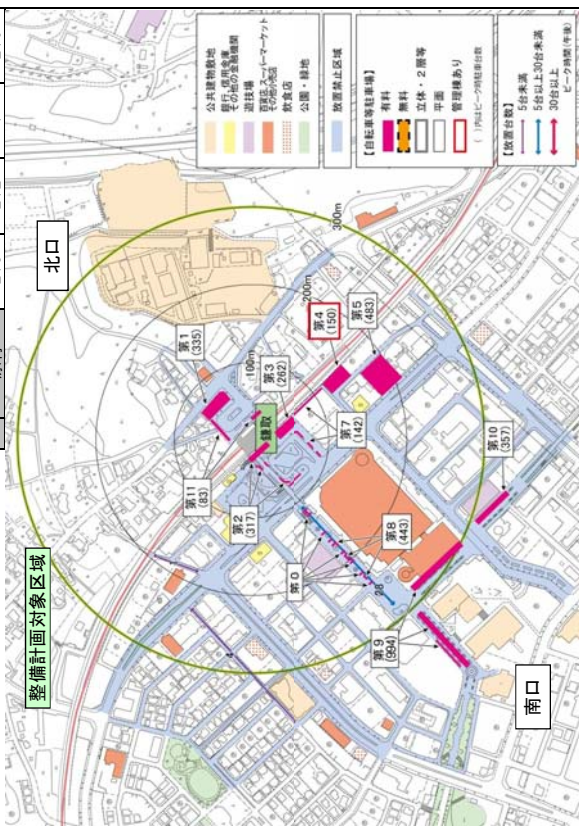
1000

第2 廃止検討

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

鎌取駅は、1日平均乗車人員は約2万人、自転車等の乗入台数は約3,600台である。
駐輪場は南口側に8箇所、北口側に2箇所設置しており、収容台数は4,107台となっている。

駐車台数、放置台数	全体	ピーク時乗入台数		収容台数
		駐車	放置	
測定日：平成27年6月2日	計	3,599	33	4,107
図はピーク時の台数を示している。	自転車	3,386	3,354	3,897
	原付	213	212	210



	南口	乗入		収容	
		台数	駐車	放置	台数
計		3,181	3,148	33	3,658
自転車		2,999	2,967	32	3,484
原付		182	181	1	174

◆参考一々

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
JR	19,841人/日

(H26千葉市統計書)

【十訓】

銚取駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は3,815台と推計しており、現在、収容台数を4,107台確保していることから充足している。

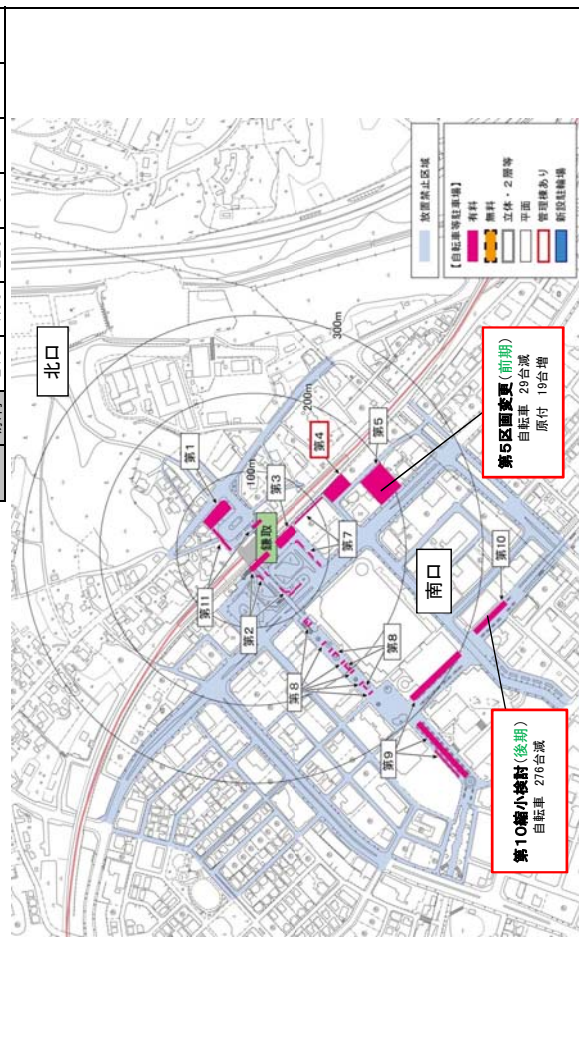
計画期間(H27の 伸び率)	全体		南口		北口	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06

※北口の乗入台数は、特異日(千葉南高等学校の休校日:H28.2.5(金)11:00時点)の台数を示している。)

【繪圖計畫】

南口では、推計台数が収容台数を下回ることから、第5駐輪場の区画変更及び第10駐輪場の縮小を検討する。
北口では、推計台数と収容台数がほぼ同じであることから、駐輪場の整備は行わないものとする。

整備計画図								
全体		乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 需要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計		3,599	—	3,815	0	3,815	4,107	—
自転車		3,386	1.06	3,589	0	3,589	3,897	—
原付		213	1.06	226	0	226	210	16



南口		乗入 台数		伸び率		伸び後の 台数		新規 需要台数		推計		収容		不足	
	計	3,181	—	3,372	0	3,372	3,658	—							
	自転車	2,999	1.06	3,179	0	3,179	3,484	—							
	原付	182	1.06	193	0	193	174	19							
北口		乗入 台数		伸び率		伸び後の 台数		新規 需要台数		推計		収容		不足	
	計	418	—	443	0	443	449	—							
	自転車	387	1.06	410	0	410	413	—							
	原付	31	1.06	33	0	33	36	—							

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数			内一時利用		整備時期	主体	
			現況(原付)	整備(原付)	計(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)		用地	整備
南口	第2		340 (0)		340 (0)	164 (0)	164 (0)	一	市	運営
	第3		260 (0)		260 (0)	0 (0)	0 (0)		市	市
	第4		135 (54)		135 (54)	10 (10)	10 (10)	一	市	市
	第5	区画変更	568 (120)	-10 (19)	558 (139)	30 (30)	30 (30)	前期	市	市
	第7		163 (0)		163 (0)	0 (0)	0 (0)		市	市
	第8		496 (0)		496 (0)	0 (0)	0 (0)	一	市	市
	第9		1,260 (0)		1,260 (0)	0 (0)	0 (0)	一	市	市
	第10	縮小検討	436 (0)	-276 (0)	160 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市
	計		3,658 (136)	-286 (19)	3,372 (193)	204 (40)	204 (40)			
	北口	第1		333 (36)		333 (36)	0 (0)	0 (0)		市
第11			116 (0)		116 (0)	50 (0)	50 (0)		市	市
計			449 (36)	0 (0)	449 (36)	50 (0)	50 (0)			
郵計			4,107 (210)	-286 (19)	3,821 (229)	254 (40)	254 (40)			

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者

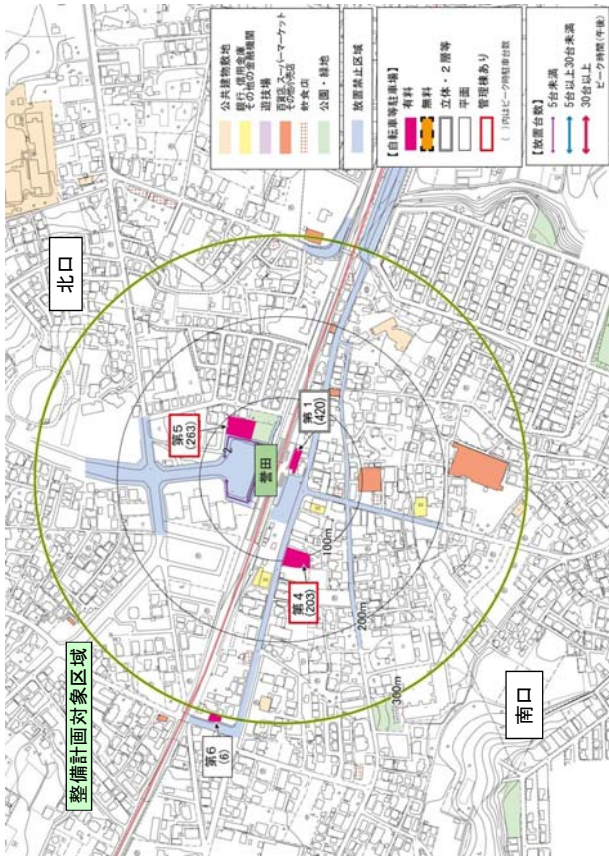
※王平欄 市：「栗山、OK、栗山平」完成・完成
※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

菅田駅は、1日平均乗車人員は約6,800人、自転車等の乗入台数は894台である。
駐輪場は北口に1箇所、南口に3箇所設置しており、収容台数は1,441台となっている。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数		収容 台数
	駐車	放置	
	計	計	
計	894	2	1,441
自転車	811	809	2
原付	83	0	1,316
原付	83	0	125



北口	乗入 台数	駐車		収容 台数
		計	放置	
	計	計	計	
計	265	263	2	464
自転車	234	232	2	419
原付	31	31	0	45
原付	52	52	0	897
原付	52	52	0	80

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	6,765人/日
	(H26千葉市統計書)

【需要推計】

菅田駅周辺では、大規模な宅地開発(たかだの森ニュータウン)が進んでいることから、今後、急激な居住人口の増加が見込まれる。計画目標年次(平成33年)の乗入台数は966台と推計しており、現在、収容台数は1,441台確保していることから充足している。

計画期間(H33)の 伸び率	全体		北口	原付	自転車	原付	南口	原付	自転車	原付
	計	伸び率								
	計	伸び率								
計	966	66%	1,02	1,02	1,00	1,00	1,07	1,07	1,00	1,00

大規模宅地開発地区から想定される新たな乗入需要

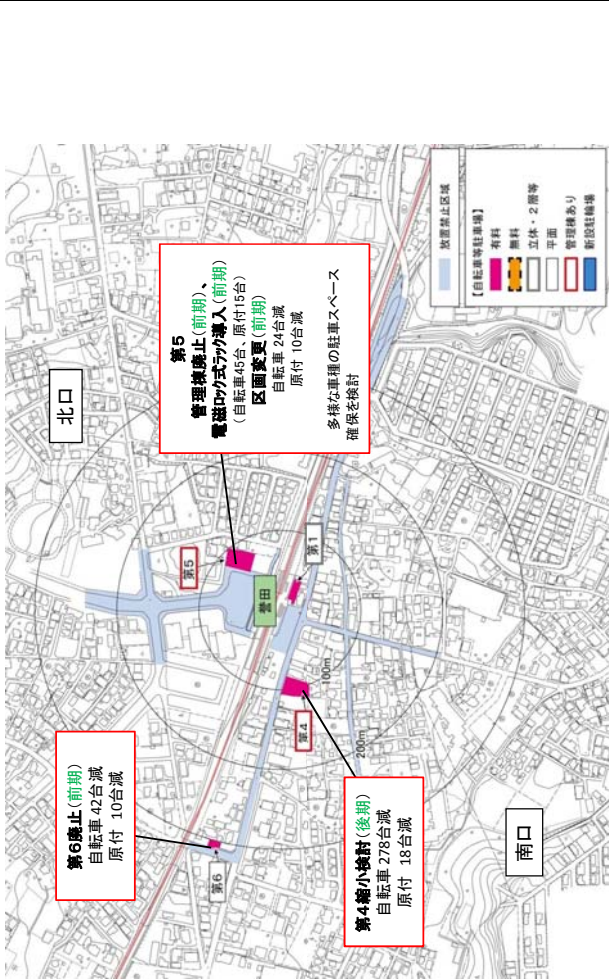
たかだの森ニュータウン地区	居住人口		建設スケジュール等
	計	伸び率	
	計	伸び率	
計	1,650人	54%	建設スケジュール等
北口需要(順次入居予定(入居開始済))	54台		

【整備計画】

北口では、推計台数が収容台数を下回ることから、駐輪場の整備は行わない。また、第5駐輪場の管理棟を廃止し、電磁ロック式トラックを導入する。
南口においても推計台数が収容台数を下回ることから、第6駐輪場の廃止、第4駐輪場の縮小を検討する。なお、第4駐輪場の縮小にあたっては、第1駐輪場の屋上階の有効活用の手法についても検討する。

整備計画図

全体	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 必要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	894	—	912	54	966	1,441	—
自転車	811	1.02	827	54	881	1,316	—
原付	83	1.02	85	0	85	125	—



北口	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 必要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	265	—	283	54	337	464	—
自転車	234	1.07	250	54	304	419	—
原付	31	1.07	33	0	33	45	—

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数				一時利用(内数)		整備時期	主体					
			現況(原付)	整備(原付)	計(原付)		現況(原付)	計画(原付)		用地	整備	運営			
北口	第5	区画変更、管理棟増設、電線ラック	464	(45)	-34	(-10)	430	(35)	100	(10)	60	(15)	前期	市	市
	計		464	(45)	-34	(-10)	430	(35)	100	(10)	60	(15)		市	市
南口	第1	縮小検討 第4 廃止	550	(0)			550	(0)	0	(0)	0	(0)	一	市	市
	第4		375	(70)	-296	(-18)	79	(52)	100	(10)	40	(15)	後期	市	市
	第6		52	(10)	-52	(-10)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	前期	市	市
	計		977	(80)	-348	(-28)	629	(52)	100	(10)	40	(15)		市	市
駅計			1,441	(125)	-382	(-38)	1,059	(87)	200	(20)	100	(30)			

※主体欄：市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノール 民：個人または民間事業者

※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33